

講座名	漢詩文を読む			
開講日	平成 28 年 8 月 18 日(予備日 8 月 20 日)			
時間数	6 時間	講座の形態		講義
受講予定者数	40 名	履修認定対象職種	教諭	主な受講対象 中・高等学校国語科教諭
講座の到達目標	漢詩・漢文の面白さを再確認する。			
講座の概要	漢詩文の面白さを再確認することを目標に、教科書所載の作品とそれ以外の生活等に関わる作品からいくつかを取り上げ、訓読する。漢詩文に限らず、中学・高校等の授業では知識の詰め込みに終わらせないための様々な工夫がなされているが、その一助になればと考える。			
講座の計画	1 時限	<ul style="list-style-type: none"> ●中国語の特質と文章 中国語のもつ特質が、文学の世界に、視覚的もしくは聴覚的な面で独特な装飾をもたらしたことを確認する。 		
	2 時限	<ul style="list-style-type: none"> ●論語 よく知られているもののほかに複数の解釈が可能なものを取り上げることで、漢文訓読の面白さを再確認する。 		
	3 時限	<ul style="list-style-type: none"> ●唐詩 唐詩に描かれた社会の様子を見るとともに、宋詩などと比べて特徴を考える。 		
	4 時限	<ul style="list-style-type: none"> ●科挙社会と詩文 論語をはじめとする儒学の進展と唐詩に代表される詩の発達を、科挙との関わりの中で確認する。 ●試験 		
修了確認の方法	筆記試験の評価による（試験は 8 月 18 日の 4 時限に行う）			
成績評価の視点	教科書等の作品を、それぞれの背景を考えつつ読むことができるかどうか。			
備考	1 時限は 90 分 テキストは使用しない。必要な資料は授業時適宜配布する。 参考文献は授業時に適宜指示する。			
担当者	渡 昌弘(人間環境大学 人間環境学部 教授)			